

オートボーイ LITE クォーツデート

オートボーイ LITE



Canon



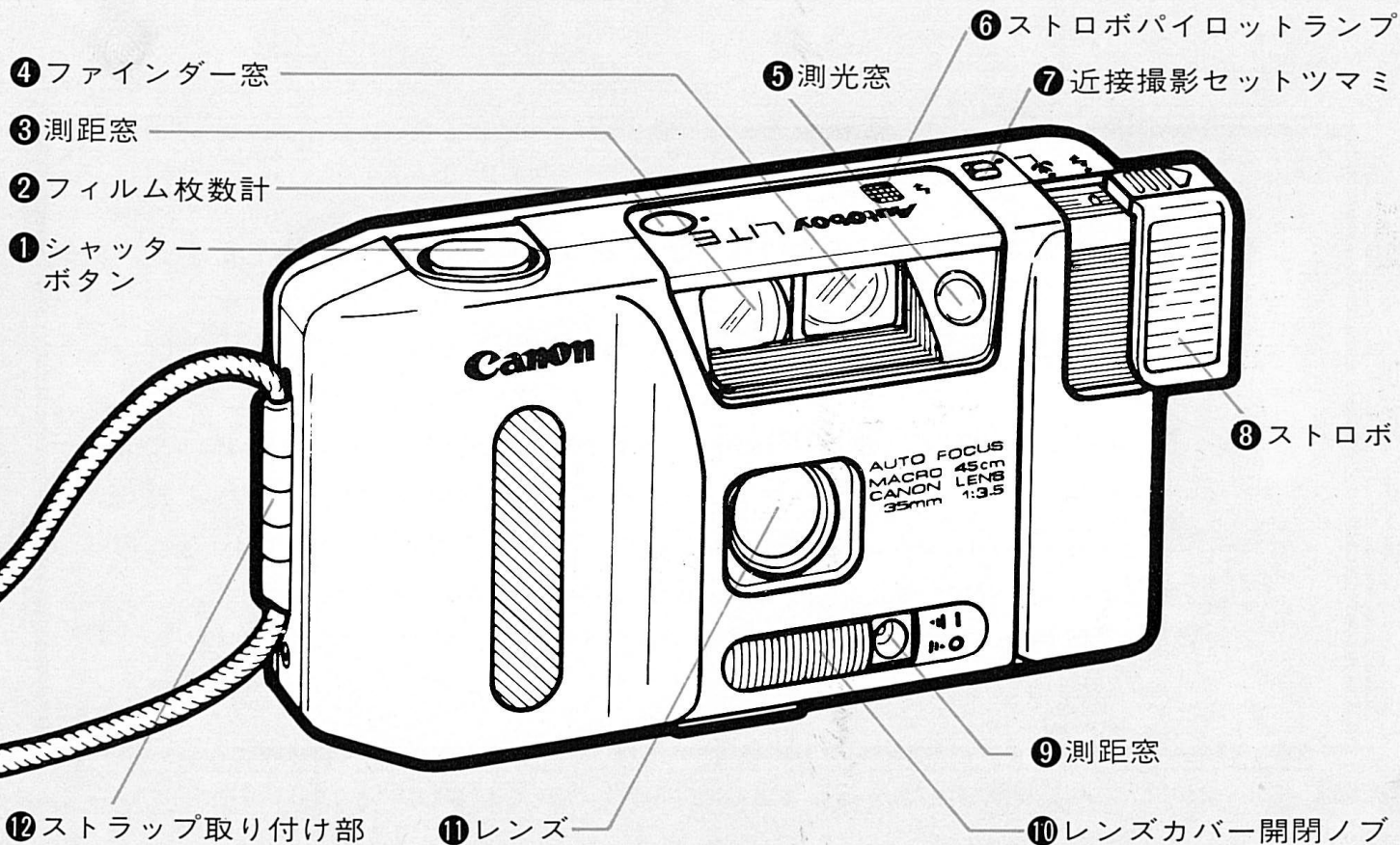
日本語版

使用説明書

キヤノン製品をお買い上げいただきありがとうございます。

このカメラはピント合わせからフィルムの巻き戻しまで全てを自動化した「完全自動カメラ」です。操作は簡単、どなたでもきれいな写真を撮ることができます。しかも、通常の撮影だけでなく、撮りたいものに45cmまで近づいて大写しができます（近接撮影）。旅の途中で見かけたしゃれた標識や、庭先に咲いた花など、近接写真はひとつひとつの楽しい思い出をより鮮やかに残してくれます。大きさはポケットに入るコンパクトサイズ、いつも気軽にお持ちいただき楽しい思い出をアルバムに残してください。

■ P.3とP.34にカメラの部分名称がありますので開いてご覧ください。



目次

撮影手順	5
電池を入れます	6
レンズカバーを開けます	7
電池をチェックします	8
フィルムを入れます	10
撮影です	14
●通常撮影のとき	14
●撮りたいものが画面の中央にないとき(フォーカスロック撮影)	17
●暗い場所で撮りたいとき(ストロボ撮影)	20
●近づいて大きく写したいとき(近接撮影)	22
フィルムを取り出します	24
ストラップとケース	25
デート機構について	26
●表示切り換え・修正	28
●写し込み	29
●電池交換	30
●液晶	31
手入れと保管	31
主要性能一覧	32
アフターサービス	35

撮影手順 (詳しくは本文をお読みください)

1

電池を入れます

2

レンズカバーを開けます

3

電池のチェックをします

4

フィルムを入れます

5

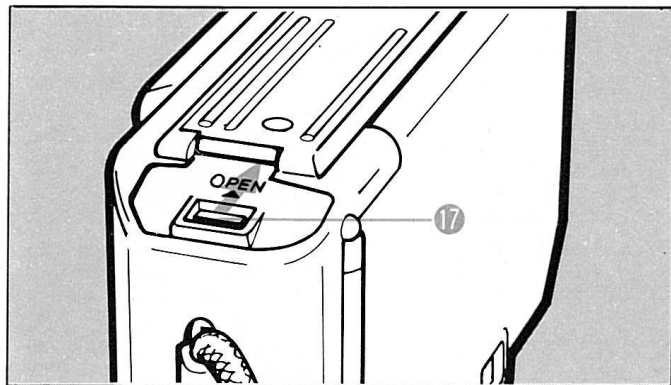
撮影です

- 1) ファインダー内のオートフォーカスフレームを撮りたいものに合わせます。
- 2) 軽くシャッターボタンを押してファインダー内に
 - ① 赤ランプが点滅していないか
 - ② ピント合わせが完了したことを知らせる緑ランプが点灯しているかを確認してください。
- 3) ファインダー内に赤ランプが点滅せず、緑ランプだけが点灯していれば、シャッターボタンをさらに深く押して撮影します。
 - 赤ランプが点滅したらストロボ撮影に切り換えます。
 - 緑ランプが点滅した場合は近接撮影に切り換えてください。

6

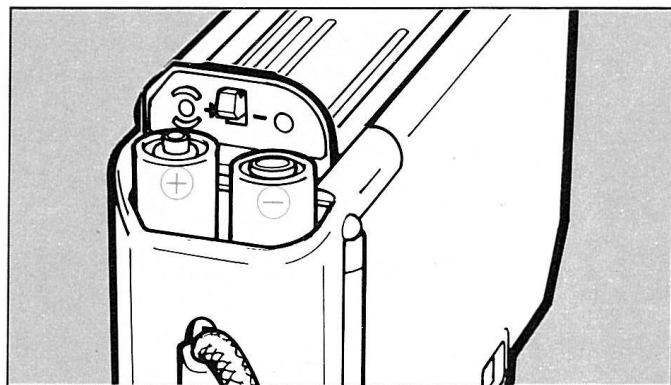
フィルムは終わると自動的に巻き戻されますので、フィルムを取り出してください

1. 電池を入れます



このカメラは電池を入れないと動きません。

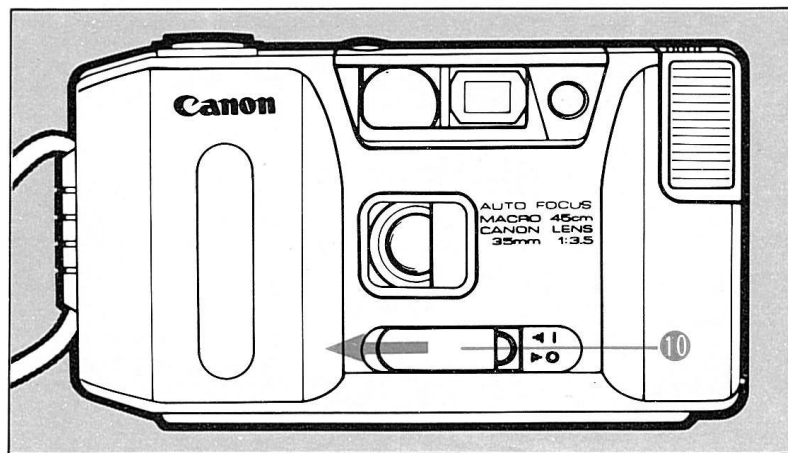
同じ銘柄で新品の単4形アルカリマンガン電池を2本ご用意ください。



- 1) 電池室開放ノブ⑬を矢印方向に押し開けます。
- 2) 電池室カバー⑭裏面の表示に従って⊕⊖の方向を間違えないように電池を入れます。
- 3) カバーを押しつけて閉じます。

Ni-Cd電池は使用しないでください。

2. レンズカバーを開きます

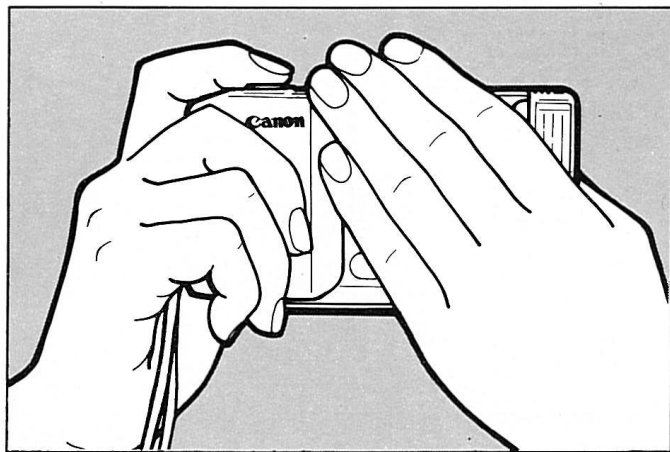


レンズカバー開放ノブ⑩を図の矢印方向一杯に押し開けます。

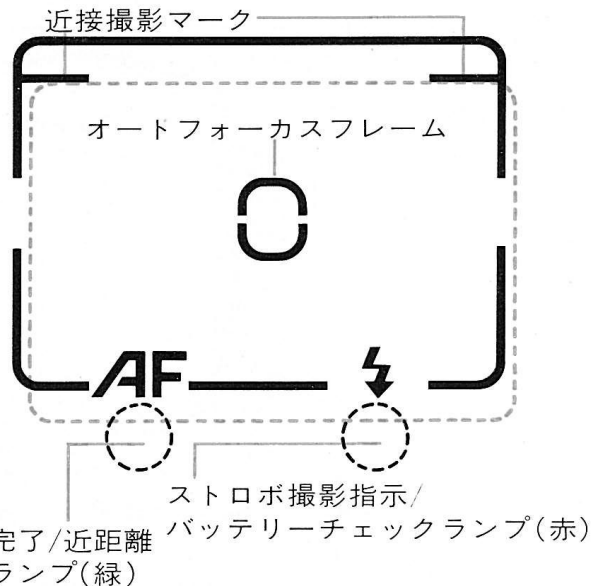
◎レンズカバーを完全に開けないとシャッターボタンは押せません。

◎撮影しないときは、不用意にシャッターボタンを押したりレンズに触れたりしないよう、レンズカバーを閉じておいてください。

3. 電池のチェックをします



- 1) シャッターボタンを軽く押しながら、測光窓⑤を手でおおいます。
 - 2) ファインダー⑭をのぞいて赤ランプ（ストロボ撮影指示ランプ兼バッテリーチェックランプ）が点滅すればOKです。
（緑ランプの点灯または点滅でもOKです。）
- ◎電池のチェックはストロボを収納した状態で行ってください。



- ◎近接撮影の時には、近接撮影マークより上に見える部分は写らず、上の図の点線内が実際に写る範囲です。
詳しくはP.23をご覧ください。

◆赤ランプが点滅しないときは、2本とも同じ銘柄の新品電池に交換してください。(電池の⊕⊖が間違っている場合も赤ランプは点滅しませんので確認してください。)

◆撮影可能本数：24枚撮りフィルム，新品アルカリマンガン電池使用時

	常温20℃	低温-10℃
ストロボを使わないとき	約50本	約3本
ストロボを使ったとき	約5本	約1本

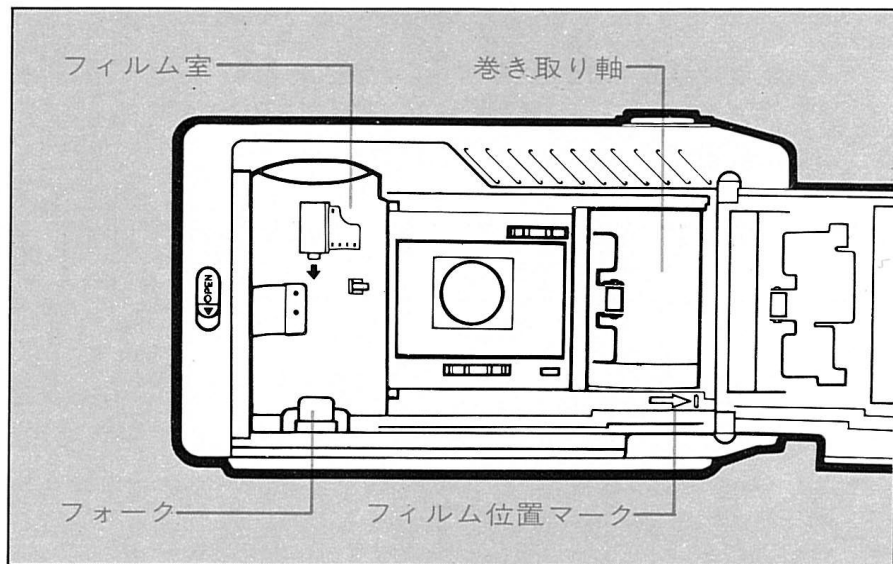
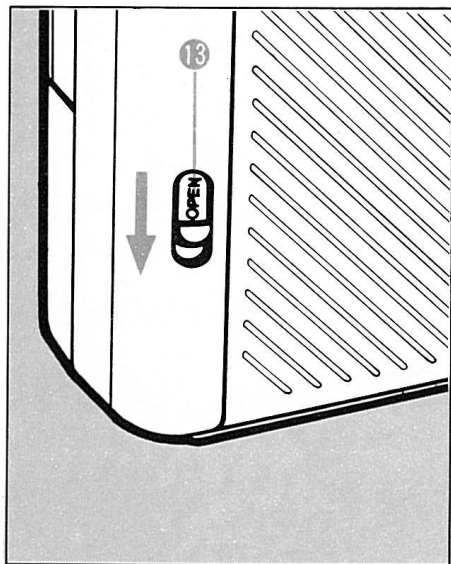
撮影可能本数は電池によってバラツキがありますので、上記の数字をだいたいの目安にしてください。

◆マンガン電池も使用できますが、撮影本数は少なくなります。

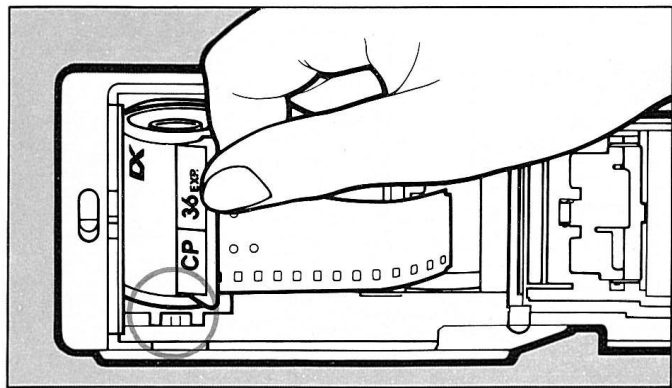
◆電池性能は低温下(0℃以下)では非常に低下します。寒冷地でご使用になるときは予備の電池を用意し、ポケットなどに入れて保温しながら交互にお使いください。なお、低温下で低下した電池性能は常温に戻ると復元しますので捨てないでください。

◎電池を入れたままにしてカメラを長期間使用しないと、電池の液漏れによりカメラが故障することがありますので、電池は抜き取って保管してください。

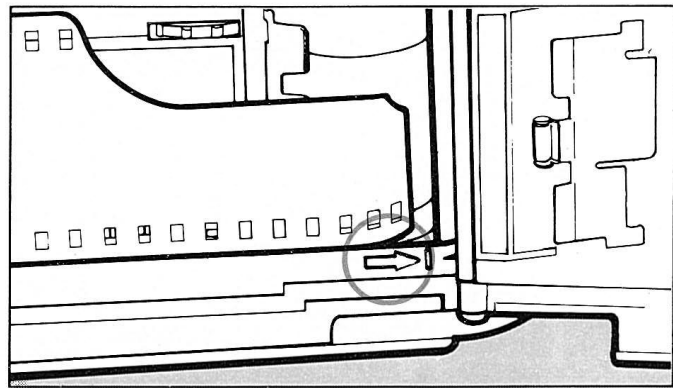
4. フィルムを入れます




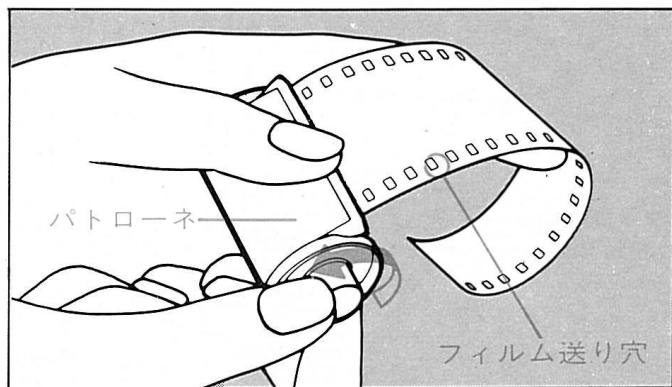
- 1) 裏蓋開放ノブ⑬を矢印方向に下げて、裏蓋を開けます。



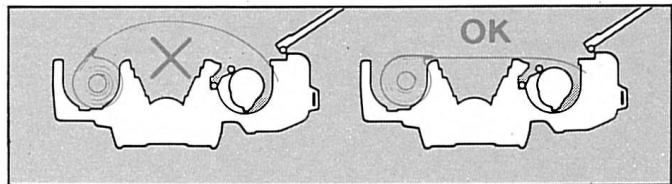
2) 図のようにフィルム軸の突き出た方を下にして、オレンジ色のフォークを押しつけながらフィルムを入れます。



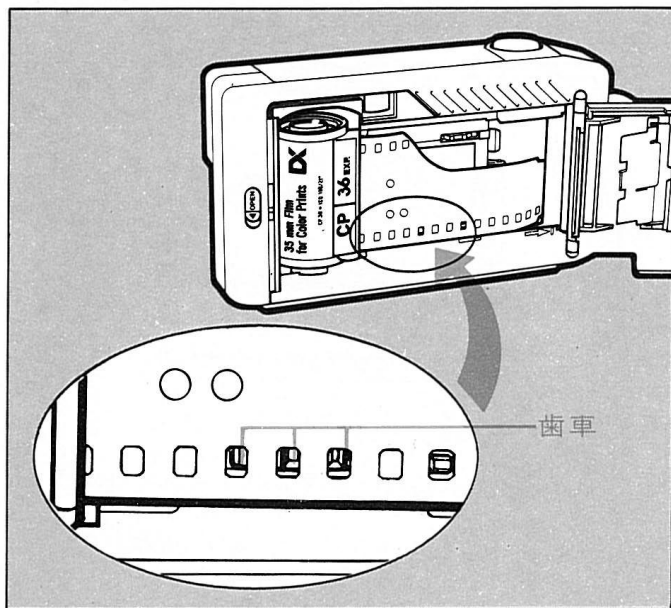
3) フィルムは先端が右下のフィルム位置マーク  に合うように、セットします。



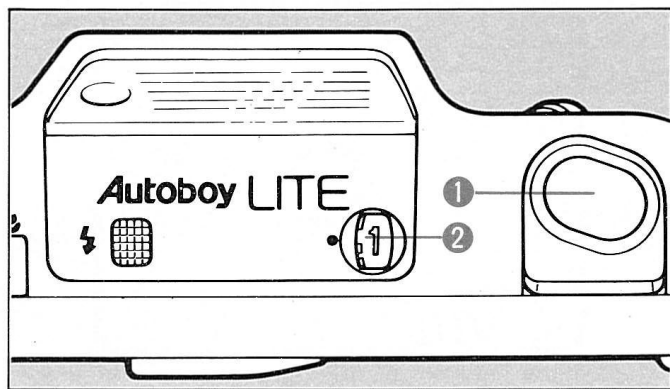
- ◆フィルムの引き出し部分が長いものはパトローネに少し巻き戻し，フィルム位置マークに合うように長さを調節してください。



- ◆フィルムは右図のように入れてください。

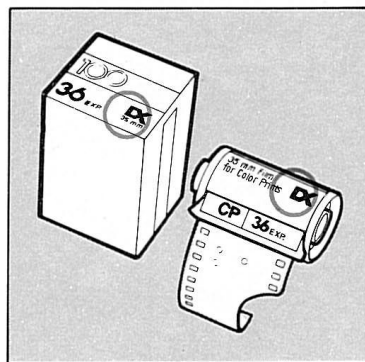


- 4) フィルム送り穴に歯車(スプロケット)が入っていることを確認して裏蓋⑮を閉じます。



5) フィルム枚数計②に“1”が出るまで繰り返してシャッターボタン①を押します。

◆シャッターボタンを押してもフィルム枚数計が動かないときは、フィルムが正しく送られていません。フィルムを正しく入れ直してください。



◆このカメラは、DXマーク付きフィルムをご使用になればフィルム感度セットは不要ですので、DXマーク付きネガカラーフィルムをご使用ください。

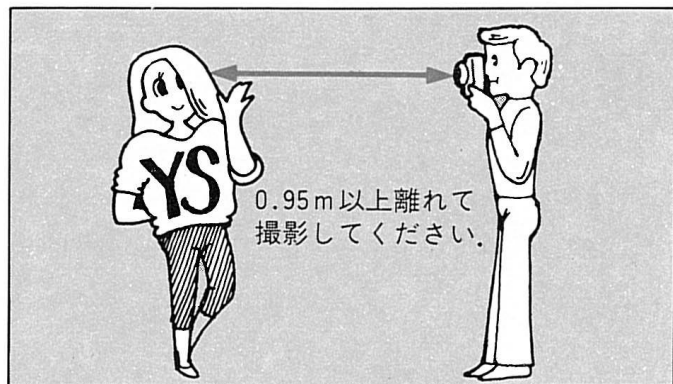
なお使用できるフィルム感度は ISO 100～400です。

(ただしリバーサルフィルムの場合はISO 100または400をご使用ください。)

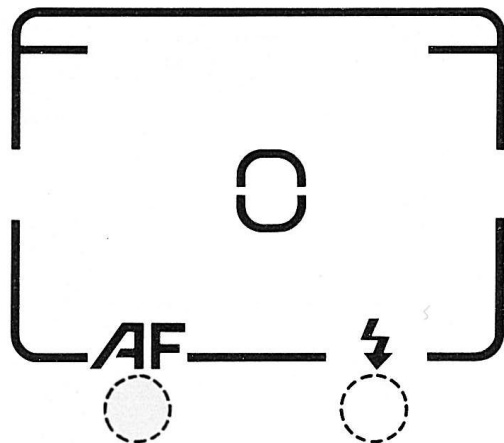
◎DXマークのないフィルムはISO 100 をご使用ください。

◆フィルムはカメラに入っているにもかかわらず、空港でのX線検査による感光は防止されませんので、フィルムの入ったカメラであることを検査官に伝えX線の照射を避けてください。

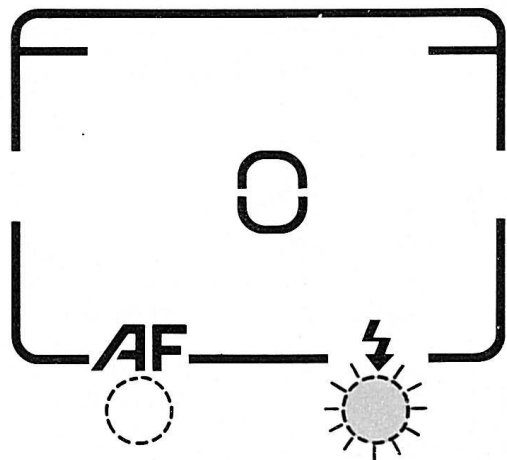
5. 撮影です〈通常撮影のとき〉



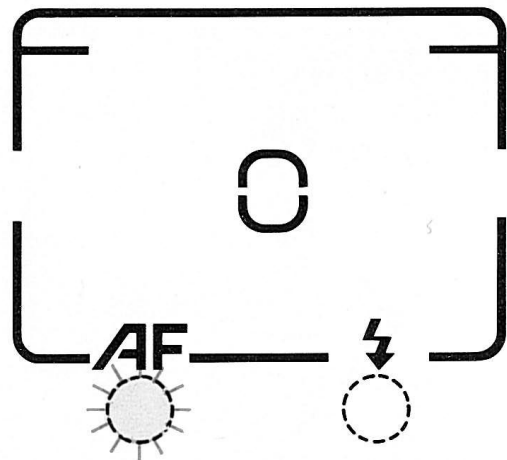
- 1) ファインダー⑭をのぞき、オートフォーカスフレームを撮りたいものに合わせます。
◎撮影できる範囲は0.95m～∞です。
- 2) シャッターボタンを軽く押して
 - ①赤ランプが点滅していないか
 - ②ピント合わせが完了したことを知らせる緑ランプ（測距完了ランプ兼点滅時は近距離警告ランプ）が点灯しているかを確認してください。



- 3) ファインダー内に赤ランプが点滅せず緑ランプだけが点灯していれば、シャッターボタンをさらに深く押して撮影します。



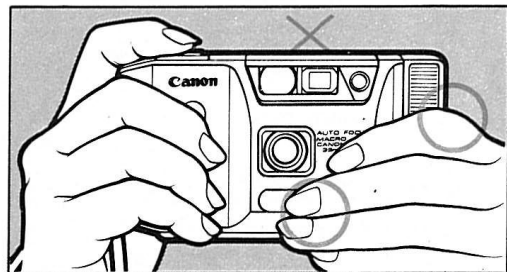
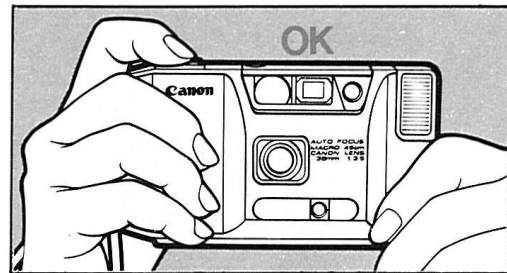
- ◎赤ランプが点滅したら、ストロボ撮影に切り換えてください。
(詳しくはP.20のストロボ撮影の項をご覧ください。)



- ◎緑ランプが点滅した場合は通常撮影の範囲外です。一度シャッターボタンから指を離し、撮りたいものから離れて、再びシャッターボタンを軽く押しても点滅しない距離で撮影するか、または近接撮影に切り換えてください。
(詳しくはP.22の近接撮影の項をご覧ください。)



◆カメラを構えるときは、一方のひじを軽く体につけます。



◆カメラ前面の測距窓③，⑨，レンズ⑪，測光窓⑤，ストロボ⑧などを指や髪などでおおわないでください。

〈撮りたいものが画面の中央にないとき〉—フォーカスロック撮影—

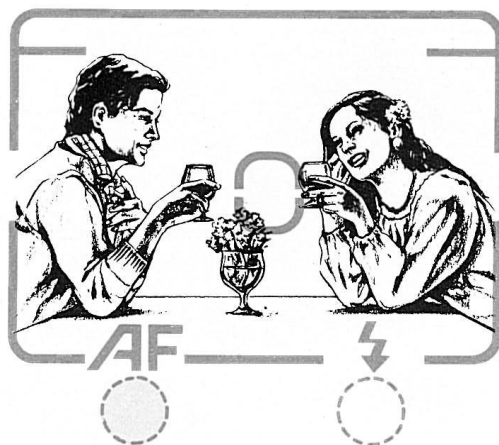


人物にピントが合っていない写真



人物にピントが合っている写真

構図によっては、ピントを合わせたいものがオートフォーカスフレームから外れ、左上の写真のようにピント外れの写真になってしまうことがあります。そのようなときは次のように撮影します。



- 1)ファインダー⑭をのぞいて、ピントを合わせたものにオートフォーカスフレームを合わせます。
- 2)軽くシャッターボタンを押して、緑ランプの点灯を確認します。

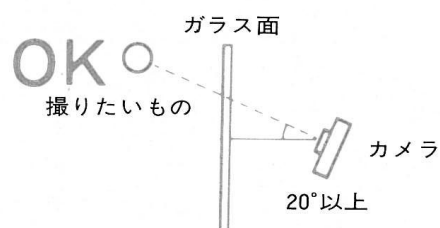
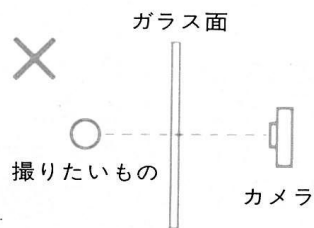
- 3)シャッターボタンから指を離さず、軽く押し続けたまま撮りたい構図に戻してさらにシャッターボタンを深く押します。
(軽く押した指をシャッターボタンから離せば何度でもフォーカスロック撮影を繰り返すことができます。)

◎写すものによって、オートフォーカス機構が正しく働かないことがあります。

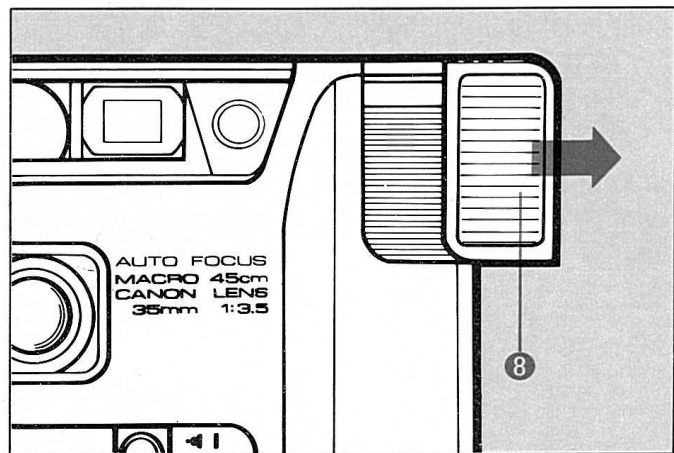
- 例：1 光沢のあるもの(車のボディなど)
2 反射しにくいもの(黒い髪など)
3 ガラス越しのもの

光沢のあるもの、反射しにくいものを撮るときは、撮りたいものとほぼ等しい距離にある別のもの測距してから撮影してください。


ガラス越しのものを撮るときは、ガラスに密着して撮るか、ガラスに対し斜めに撮影してください。



〈暗い場所で撮りたいとき〉—ストロボ撮影—



シャッターボタンを軽く押して、ファインダー内に赤ランプが点滅したらストロボを使って撮影してください。

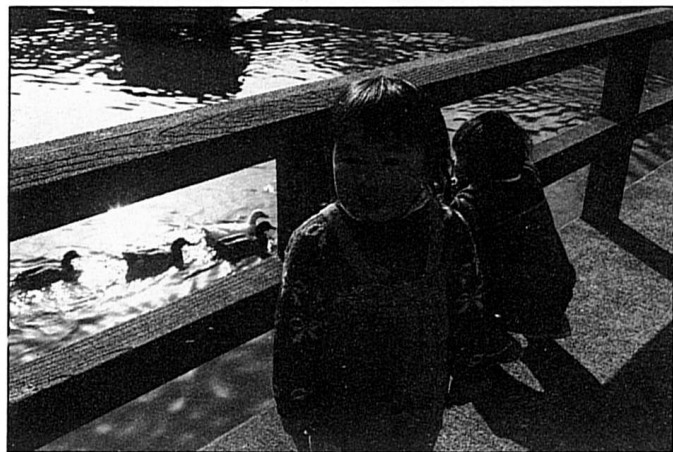
- 1) ストロボ⑧を上部に記された矢印の方向にスライドさせ、マークのところまで完全に引き出します。
- 2) パイロットランプ⑥がついたことを確認します。

- ◎パイロットランプがつく前に撮影すると、光量不足の暗い写真になります。ご注意ください。
- ◎シャッターボタンを軽く押したままにしていると、ストロボのパイロットランプは点灯しません。

3) ファインダーをのぞき、オートフォーカスフレームを撮りたいものに合わせて撮影します。

◎パイロットランプ点灯後でも軽くシャッターボタンを押すと赤ランプが点滅しますが、ストロボ撮影は正しく行われます。

- ◆ストロボで撮影できる距離は、ネガカラーフィルム使用時で
ISO 100のとき 0.95～4 m
ISO 400のとき 0.95～8 m
です。

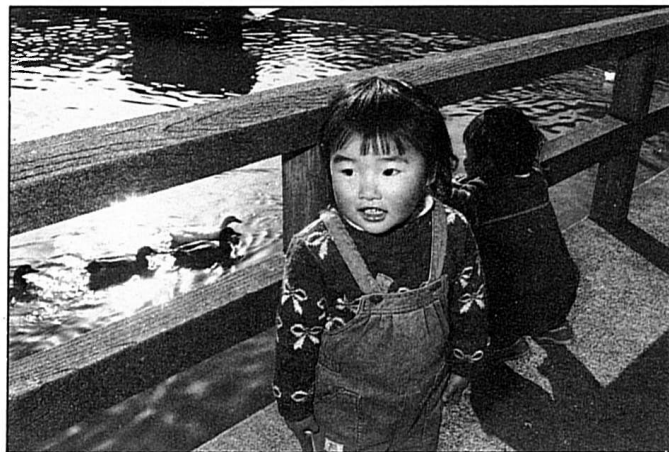


日中又は夕方の逆光写真

4)撮影後は必ず、ストロボを押し戻してください。

◎ストロボを使用しないときは、必ず押し戻しておいてください。

ストロボを引き出したままにしていると電池消耗を早めます。

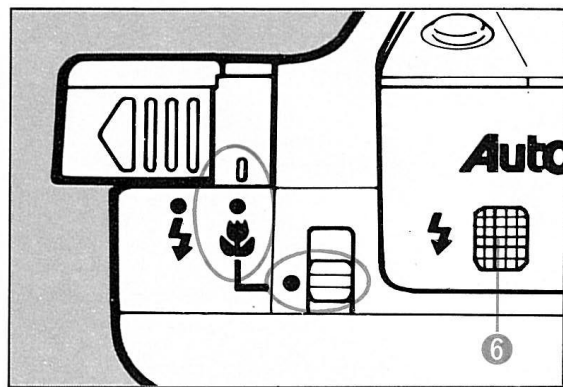
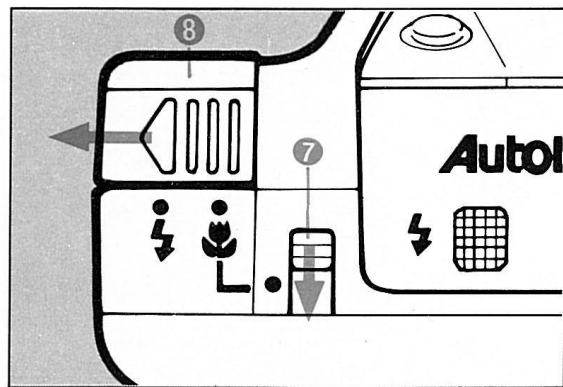


ストロボ撮影写真

◆室内窓際など逆光の時や、木かげ・夕方などの人物撮影で、写される人の顔が暗くなってしまう場合にも、ストロボを使用すればきれいな写真を撮ることができますのでご利用ください。

約3 m以内で使用すると効果があります。

〈近づいて大きく写したいとき〉—近接撮影—

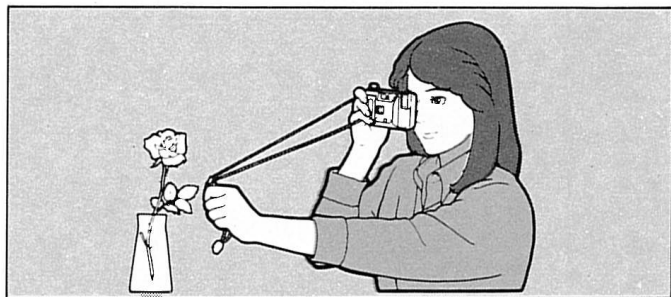


撮りたいものに、近づいて大きく写したいときは、近接撮影に切り換えてください。シャッターボタンを軽く押して、ファインダー内の緑ランプが点滅したときは近接撮影範囲であることを意味します。

1) 図のように近接撮影セットツマミ⑦（黄色）を、●マークのところまでスライドさせたまま、ストロボ③を●マークのところまで引き出します。

2) パイロットランプ⑥がついたことを確認します。

◎パイロットランプがつく前にシャッターボタンを押すと、光量不足の暗い写真になります。ご注意ください。



3)ストラップについている黄色いマーク（カメラ本体から45cm）を図のように撮りたいものの方へ伸ばし、撮りたいものとカメラとの距離が45cm以上あることを確認します。

◎近接撮影ができるのは45cm～110cm（緑ランプの点滅により表示）です。近接撮影時は、近接撮影マークより上に撮りたいものを入れても写りません。マークより下に入れて撮影してください。P. 8の点線範囲が近接撮影時の写り込む範囲です。

◎45cmより近くのを撮るとピントが合いませんのでご注意ください。

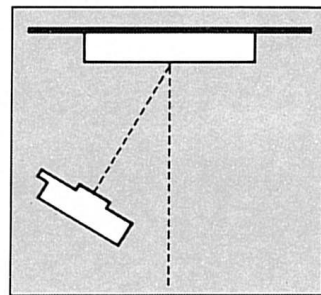
◎近接撮影に切り換えた後は、軽くシャッターボタンを押しても緑ランプは点灯、点滅しません。

4)シャッターボタンをさらに深く押して撮影します。

5)撮影が終わったら、ストロボを押し戻します。

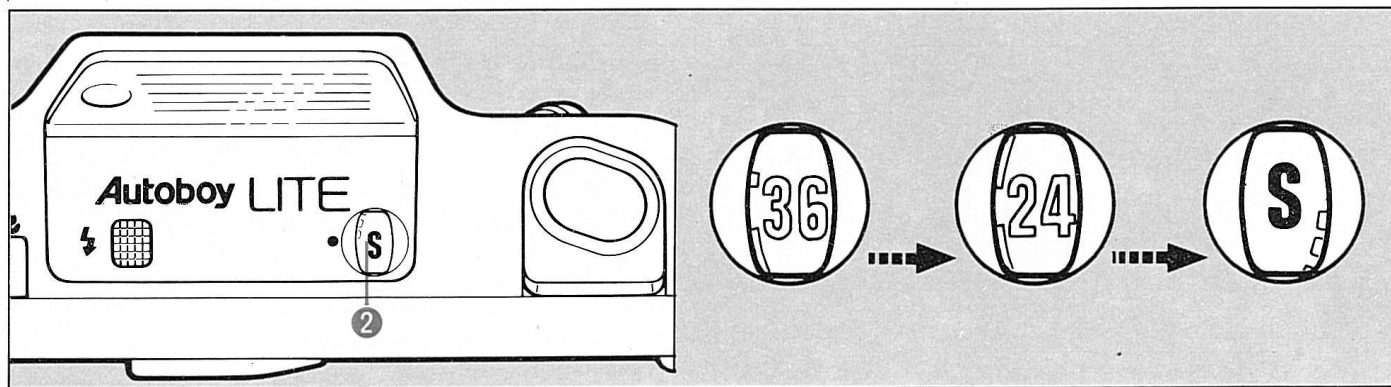
◎ストロボ撮影を解除するときは、ストロボを押し戻してください。

◎光沢のある平らなもの（写真など）を撮るときは、ストロボが反射してきれいに写りませんので、図のように、少し斜めの位置から撮るなどしてください。



◎近接撮影はストロボ撮影となるので、人物の顔のクローズアップはお避けください。

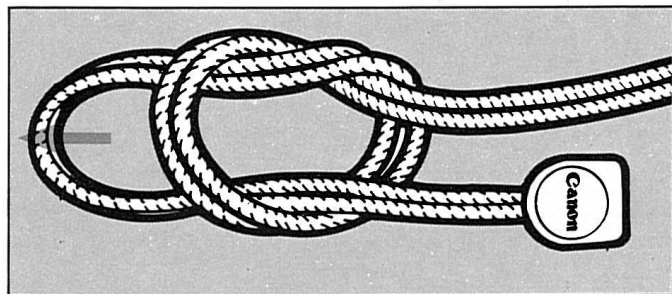
6. フィルムを取り出します



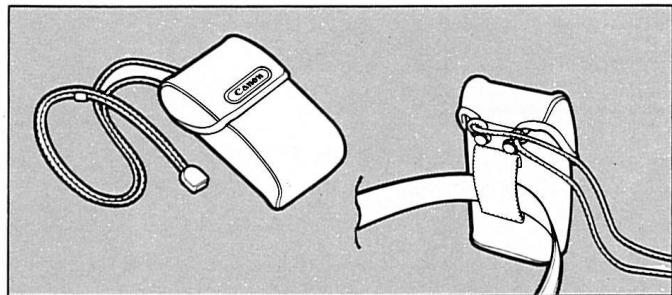
- 1) このカメラは、フィルムが終わると自動的に巻き戻されますのでフィルムの巻き戻し操作は不要です。このときフィルム枚数計②も連動して逆回転します。
- 2) 巻き戻しが終わったら、フィルム枚数計が“S”になっていることを確認してください。

- 3) 裏蓋⑮を開いてフィルムを取り出します。
 - ◎ フィルムを途中で巻き戻すときは、レンズを手で覆いシャッターボタンを繰り返し押し続けてフィルムを最後まで撮り終わった状態にしてください。
 - ◎ フィルムの規定枚数以上に撮影すると、最後のコマは現像処理でカットされることがあります。

ストラップとケース



このカメラはストラップが組み込まれています。携帯の際は図のようにして長さを調節してご利用ください。

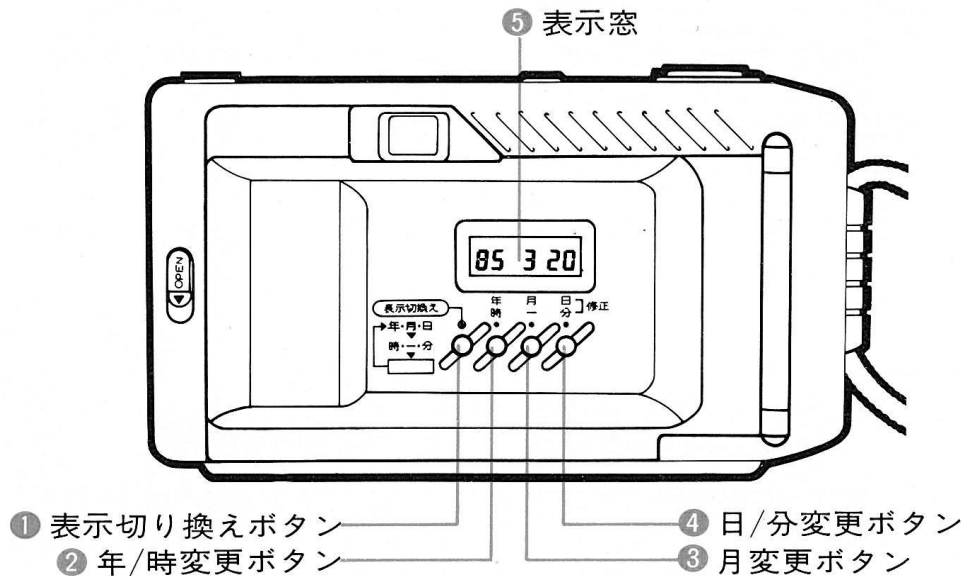


ケースは図のようにベルトに通して使用することもできます。



デート機構について

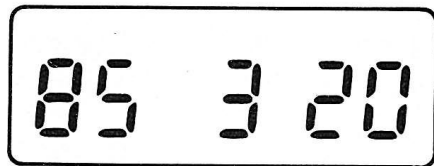
ここからは、オートボーイライククォーツデート機構（日付け写し込み機構）の説明です。



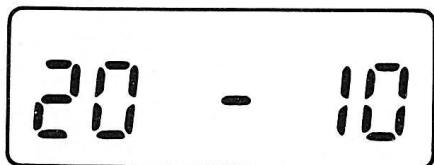
オートボーイライククォーツデートは、撮影した日付けや時間が写真に写し込まれる機構を持つカメラです。2019年12月31日までの日

付けを記憶しているクォーツ制御の自動カレンダーが組み込まれていますので、撮影のたびに日付けをセットする必要はありません。

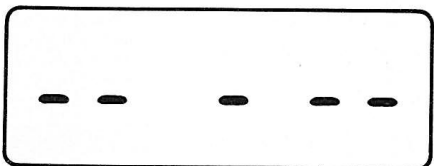
〈表示の例〉



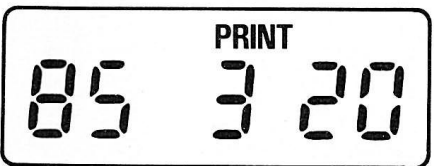
●年・月・日表示（例 1985年 3月20日）



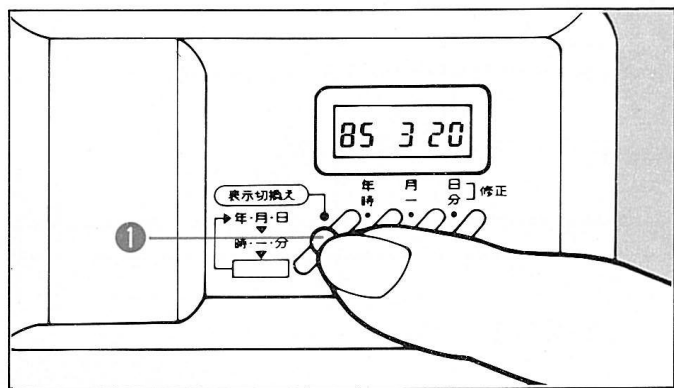
●時・分表示（例 20時10分）



●OFF表示（写し込みが行われません）

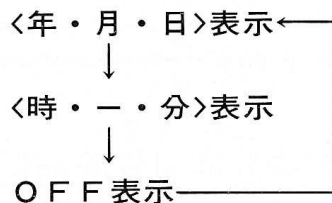


●写し込み確認表示
（写し込み確認マークが撮影後0.5～1秒間点灯します）



表示切り換え・修正

表示切り換えボタン①を押すたびに、次のように表示が変わります。



●表示された数字を修正したいときは

1.<年・月・日>表示のとき

1)年(／時)変更ボタン②を押して、西暦年の下2桁をセットします。例えば1985年は85と表示されます。

2)同じく月変更ボタン③，日(分)変更ボタン④を押して「月」，「日」をセットします。

◎数値変更ボタンを押すたびに数字がひとつずつ進みます。また，押し続けると数字が連続して早送りされます。

◎日(／分)ボタン④を押し続けて，「日」の数字が31から1に変わっても翌月の表示になることはありません。

「月」と「年」においても同様ですので<年・月・日>表示ではどの桁から修正しても構いません。

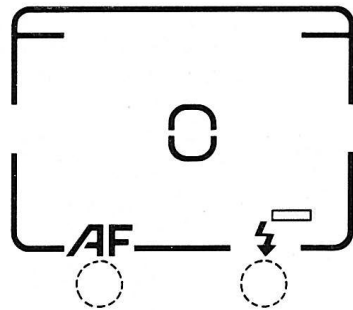
2. <時・ー・分>表示のとき

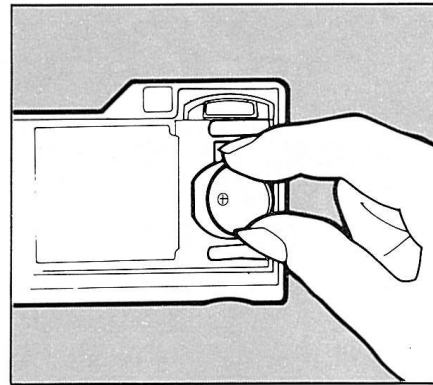
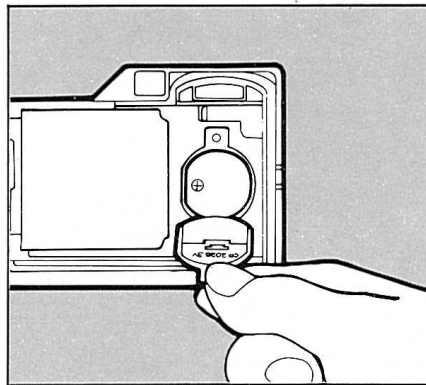
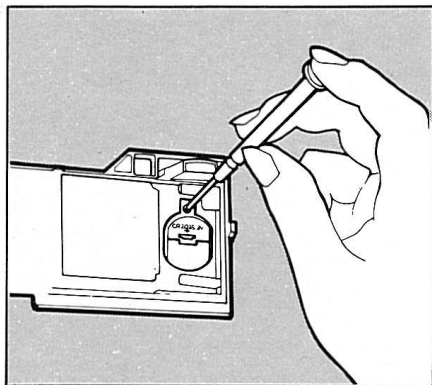
- 1) (日／)分変更ボタン④を押して「分」をセットします。
 - 2) 次に(年／)時変更ボタン②を押して「時」をセットします。
- ◆さらに正確に時刻を合わせたい場合は、月変更ボタン③を使います。
電話・ラジオなどの時報に合わせて、月変更ボタン③を押すと、0秒にリセットされます。それから速やかに1), 2)の要領で、「分」、「時」をセットしてください。
 - ◆海外旅行の際は時差がありますので、現地の日付け・時刻に合わせてください。

写し込み

表示窓の表示がOFF
-- -- のとき以外は、
デイトは全て写真に写し込まれます。

- デイトは右図の位置に写し込まれます。
- 写し込み位置に明るいものがくると数字が読みにくくなります。また、カラーフィルムの場合、数字はオレンジ色に写りますのでオレンジ系のものや白いものが写し込み位置にあると読みにくくなります。
- デイト写し込み用の電池が消耗すると日付けや時刻が写り込みませんので、そのときは速やかに電池を交換してください。なお電池の寿命は工場出荷時より約4年です。





電池交換

使用電池：コイン型リチウム電池(3V)

JIS CR2025

電池寿命：約4年

交換時期：電池室蓋上面にシールにて表示

交換方法：

- 1)裏蓋を開けます。
- 2)小型のプラスドライバーでデート用電池室蓋を外すと、電池が外れます。

- 電池室カバーを外しても電池が外れないときは、電池室カバーの爪を用いて取り出してください。
- 3)電池を外したのち、 \oplus 、 \ominus を間違えないように新品電池を入れます。
 - 4)デート用電池室蓋をプラスねじで止めます。
- 交換用の電池は幼児の手の届かないところに置いてください。
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

手入れと保管

- デート用電池は出荷時にセットされています。
- 寒冷地(−10℃以下)ではデート機構が正常に働かないことがありますので、ご注意ください。
- 電池交換のとき以外はデート用電池室カバーを開けないでください。
- 新品電池を入れると、でたらめな表示が出る場合がありますが、デート機能には支障ありませんので、新たに日付けと時刻をセットしてご使用ください。

液晶

デート表示部と写し込み部には液晶を使用しています。液晶はその性質上、通常の使用で5年程度で表示が薄くなる場合があります。その場合は最寄りのサービスステーションで液晶の交換をご用命ください。(有料)

- ◆ カメラを長期間使用しないときは、電池を抜き取り、風通しの良い涼しく乾燥した場所に保管してください。
なお、ナフタリンや樟脳などはカメラに悪影響を与えますので、押し入れやタンスの中は避けてください。
- ◆ 直射日光下の車やトランクの中などは高温になり、故障の原因となることがありますので放置しないでください。
- ◆ カメラ内にごみがついているときは、市販のブロワーブラシで吹きとばすだけにしてください。レンズは有機溶剤を含むクリーナーなどでふかないでください。
なお、特に汚れのひどいときは、最寄りのキャノンサービスステーションにご相談ください。

主要性能

〈キヤノンオートボーイライトクオートデート／キヤノンオートボーイライト〉

〈型式〉 35mmレンズシャッター式AF全自動カメラ

〈画面サイズ〉 24×36mm

〈レンズ〉キヤノンレンズ35mm F3.5

3群3枚，スペクトラコーティング

〈レンズカバー〉 開けるとレリーズ可能，閉じるとレリーズロック

〈焦点調節〉 通常撮影時：アクティブオートフォーカス

近接撮影時：0.69m固定焦点

〈撮影距離〉 通常撮影時：0.95m～∞

近接撮影時：0.45m～1.1m

〈シャッター型式〉 絞り兼用プログラム式電磁駆動シャッター

〈ファインダー〉 アルバダ式逆ガリレオファインダー 倍率：0.45倍

オートフォーカスフレーム，視野枠（0.45m

近接撮影時補正マーク付），ストロボ撮影指示兼バッテリーチェックランプ（赤色LED），測距完了および近距離警告ランプ（緑色LED）

〈近接撮影〉 可能，近接撮影セットスイッチとストロボ併用による

〈フォーカスロック撮影〉 可能

〈フィルム装てん〉 自動

〈フィルム巻き上げ〉 自動

〈フィルム巻き戻し〉 フィルム終了時自動巻き戻し開始，完了後オートストップ

〈裏蓋開放〉 裏蓋開放ノブによる

〈フィルム枚数計〉 順算式，裏蓋開放により復帰，フィルム在否確認兼用

〈フィルム感度セット〉 DXコード方式により自動

〈測光作動範囲〉 ISO 100/21°でEV 9～15

〈内蔵ストロボ〉 横スライド方式

〈ガイドナンバー〉 9 (ISO 100・m)
〈ストロボ連動範囲〉 ISO 100で0.95~4.0m,
ISO 400で0.95~8.0m
〈発光間隔〉 8秒以下 (新品のアルカリマン
ガン電池使用で発光後パイロットランプが点
灯するまで)
〈撮影可能本数〉 新品のアルカリマンガン電
池使用時 (常温20℃)
ストロボを使わないとき
24枚撮りフィルム約50本
ストロボを使うとき
24枚撮りフィルム約5本

〈オートボーイライトクォーツデートのみ〉

〈オートデート機構〉 液晶表示式, クォーツ
デジタルオートカレンダー時計内蔵
〈時計機能〉 常温(20℃)下で月差約2分以内
〈電源〉 コイン型リチウム電池(3V), JIS
CR2025 1個

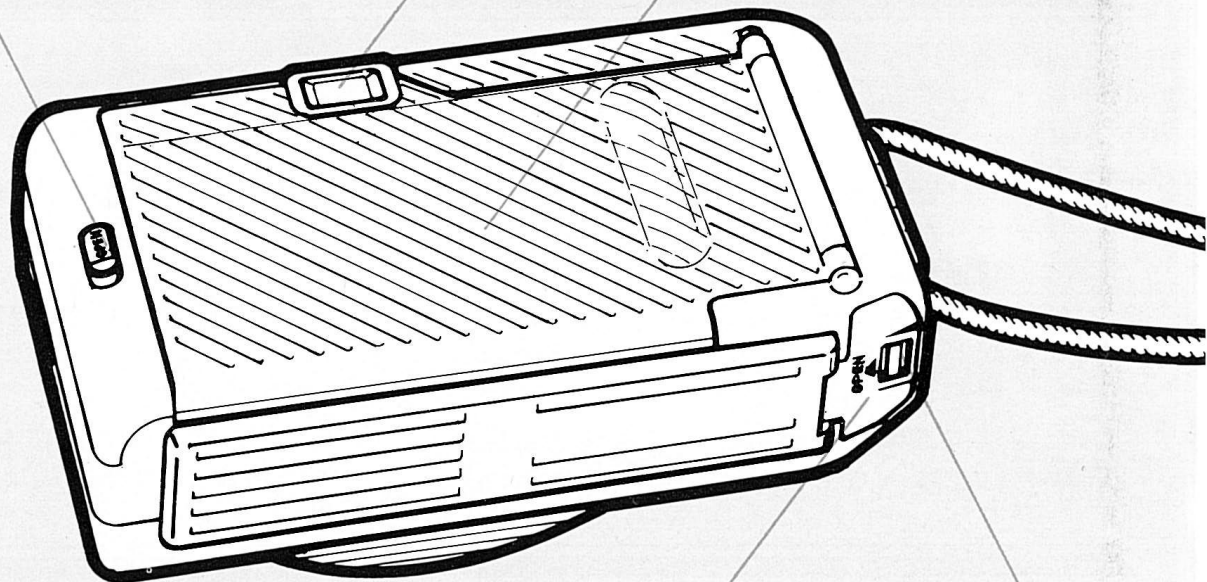
〈色温度〉 昼光色相当
〈電源〉 単4形アルカリマンガン電池2本使
用(LR03, 3V)Ni-Cd電池使用不可
〈大きさ〉 123(幅)×68.7(高さ)×44.5(奥行)
mm
〈重量〉 250g (電池含む)

〈大きさ〉 奥行きのみ, オートボーイライト
より5.1mm増
〈重量〉 265g (リチウム電池含む)
都合により製品の仕様および外観の一部を予告なく変
更することがあります。

⑬ 裏蓋開放ノブ

⑭ ファインダー

⑮ 裏蓋



⑯ 電池室カバー

⑰ 電池室開放ノブ

アフターサービスについて

- 1.保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛かりはお客さまにてご負担願います。
- 2.本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために不可欠な部品）は、日本国内において、7年間を目安に保有しています。したがって期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、故障の原因や内容に

よっては、期間内でも修理が困難な場合と期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判定につきましてはお買い上げ店、または、裏面の当社サービス機関にお問い合わせください。

- ★修理品をご送付の場合は、見本のフィルムを添付する等、修理箇所を明確にご指示の上、十分な梱包でお送りください。

Canon

キヤノン株式会社

キヤノン販売株式会社

〒108 東京都港区三田3-11-28 カメラ相談室 (03) 455-9353

◎サービスステーション・営業所

札幌	〒060	札幌市中央区北三条西4-1	(第一生命ビル)	☎(011)	231-1353
仙台	〒980	仙台市一番町1-1-30	(やまと生命仙台ビル)	☎(0222)	66-4151
山形	〒963	福島県郡山市開成2-38-13		☎(0249)	23-5618
新潟	〒950	新潟市東大通り1-4-1	(マルタケビル)	☎(0252)	43-2111
銀座	〒104	東京都中央区銀座5-9-9		☎(03)	573-7834
新宿	〒160	東京都新宿区西新宿2-6-1	(住友三角ビル地下1階)	☎(03)	348-4725
横浜	〒221	横浜市神奈川区鶴屋町3-30-4	(安田生命横浜西口ビル)	☎(045)	312-0211
大宮	〒330	大宮市大成町2-273		☎(0486)	66-3930
静岡	〒420	静岡市鷹匠2-7-2	(静米会館)	☎(0542)	55-2241
名古屋	〒450	名古屋市中村区名駅3-21-7	(三交ビル)	☎(052)	563-6822
大阪	〒530	大阪市北区梅田1-8-17	(第一生命ビル)	☎(06)	341-9335
京都	〒604	京都市中京区東洞院通御池下ル笹屋町435	(京都御池第一生命ビル)	☎(075)	241-0216
金沢	〒921	金沢市玉鉾2-266		☎(0762)	91-1215
高松	〒760	高松市番町3-3-17	(第一讃機ビル)	☎(0878)	33-2933
岡山	〒700	岡山市中山下1-9-40	(新岡山ビル)	☎(0862)	22-8228
広島	〒730	広島市中区小町2-30	(第二有楽ビル)	☎(082)	245-7791
福岡	〒812	福岡市博多区博多駅前4-20-23	(セントラルビル)	☎(092)	411-4172
沖縄	〒900	那覇市泊1-2-2		☎(0988)	67-2106

◎営業所

青森	〒030	青森市大字浦町字奥野351-7	(東和ビル)	☎(0177)	75-1666
盛岡	〒020-01	盛岡市上堂3-2-15	(工藤ビル)	☎(0196)	46-8710
松本	〒390	松本市双葉町10-22	(双葉町ビル)	☎(0263)	26-5549
千葉	〒280	千葉市末広2-13-2		☎(0472)	61-5121
大分	〒870	大分市城崎町1-3-31	(富士火災大分ビル)	☎(0975)	37-4117
鹿児島	〒892	鹿児島市山之口町3-22	(住友生命鹿児島ビル)	☎(0992)	24-3141

◎サービスセンター

東京	〒108	東京都港区港南2-13-29		☎(03)	450-2731
大阪	〒540	大阪市東区森の宮中央2-10-9		☎(06)	941-1076

◎休業のご案内

新宿(第3木曜日)銀座・梅田(日曜日・祝日)その他(土・日曜日・祝日)

©CANON INC. 1985
CY8-6036-001

PRINTED IN TAIWAN

PUB. C-IJ-121
0585N19